

数学（ⅡB）九州大学 文、教育、法、経済（経済・経営）、医（保健－看護）、共創

<全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	4 題
------	-------	-------	-----

<p>解答形式 全問記述式</p> <p>分量・難易（前年比較） 分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）</p> <p>出題の特徴や昨年との変更点 文字を含む論証、計算が多くなった。</p> <p>その他ピックアップ 融合問題が多い。</p>

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
〔1〕	積分法	数学Ⅱ	絶対値付き2次関数に関する面積	標準
〔2〕	三角比・三角関数	数学Ⅰ・Ⅱ	3次関数とその接線に関する図形における図形量の最小値	標準
〔3〕	平面ベクトル	数学B	2つの平面ベクトルの平行条件と平行でないベクトルに関する考察	やや難
〔4〕	確率漸化式	数学A・B	状態の推移と帰納的定義	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>教科書を中心とした標準問題をまずマスターすること。 正確な計算力をつけること。</p>
